

指導のくふうも大事であるとする。

- (3) クラス全体の大まかな変容はつかめたが、個々の問題についてはくわしく分析することはできなかった。
- (4) 漢字によっては、字義から教えた方が効果があるもの、構成から理解させ習得させる方がよいものがあるように思われる。
- (5) 学習後の子どもの意識調査からみて、漢字学習への関心は高まったと言える。学習のねらいと子どもの実態に合わせ、どのようなくふうがより子どものためになるのか今後の研究の課題として取り上げていきたい。

6. 参考文献

- | | |
|-------------------|--------------|
| 教育研究法 | 福島県教育研究所 |
| 漢字の教え方、学び方 | 友野一 さ・え・ら 書房 |
| 所報 | 福島県教育研究所 |
| 漢字指導の計画と展開 | 須藤久幸 |
| | 明治図書 |
| 国語教育No.98, No.122 | 明治図書 |
| これからの漢字指導 | 田中久直 新光閣書店 |
| 教育研究の実践 | 福島県教育センター |
| 教育研究, 32巻5号 | 初等教育研究会 |

7. 検定に使用した問題

(1) 事前テスト、事後テストの問題

○ 次の文中の——の部分の読みがなを漢字になおして書けますか。

- 1 じこの一生について人にかたったことを記録した書物
- 2 徳川ばくふは、アメリカへ軍かんを派けんするという。
- 3 じょう気は、百馬力でした。
- 4 しき官は、勝りん太郎でした。
- 5 西洋を信ずる気持ちがほねにまでとおっていたからだろう。
- 6 フランス語のつうやくをする。
- 7 交通事こでしほうしたのは去年のことです。
- 8 使節団に加わって、ヨーロッパしよこくを回りました。

9 大とう領にしゅうにんしたのは、1789年のことでした。

10 しんぶんをそうかんしたのは、明治15年です。

(2) は持テストの問題

○ 次の文中の——の部分の読みがなを漢字になおしましょう。

- 1 ほね組のしっかりしたたてものです。
うで、足、胸、がいこつなどもありました。
- 2 きず口にばんそうこうをはっておこう。
しんぶんをそうかんしたのはいつのことですか。
- 3 交通事こでしほうしたのは去年のことです。
平氏が減ほうしたのは、1192年のことでした。
- 4 鎌倉ばくふから江どばくふまで続いた。
プロ野球も、間もなく開まくになるでしょう。
- 5 フランス語のつうやくをする。
この本のやく者は尾上政治という人です。
- 6 ときには、じこの気持ちをおさえることも大事でしょう。
ちきとは、自分をよく知ってくれる友人のことをいいます。
- 7 そり大臣にしゅうにんしました。
東京の会社にしゅう職しました。
- 8 じょうき汽かん車を発明したのはスチーブンソンという人です。
そのままにしておくと、じょうはつしてしま
- 9 オーケストラのしき者は白井さんです。
2学期はもっと自分の力をはつきしてほしい。
- 10 ヨーロッパのしよこくを回りました。
しよ君も数年後にはアメリカへ行けるでしょう。